



志津南

11月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (9/30 現在)
世帯数 2,515 総人口 6,641 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizu373@machikyuu.jp

特別委員会

各種団体へのヒアリング開始 12月答申案完成を目標に議論継続



特別委員会による社協ヒアリング

「つくり指標」にうたわれている6分野全てとしており、委員会の場では、毎回一つ一つの分野をとりあげて集中的な議論を行うというのを積み重ねてきました。対象の6分野は次の通りです。

- ① 住民による地域自治

- ② 地域福祉と健康
- ③ 生活環境
- ④ 防災・防犯・交通安全
- ⑤ 教育・文化
- ⑥ ふれあい活動

足労をいただき、お話を伺う場を設けさせていただいています。また、11月初旬に開催予定の志津南学区まちづくり協議会の理事会には、特別委員会からの中間報告をさせていただきます。理事(各町内会長・自治会長、各専門

民児協 青山地区と情報共有

志津南学区と青山地区の民生委員児童委員協議会では、かねてより話し合いをしてきましたが、10月より互いの情報を共有し協働で活動する取り組みを始めました。当学区の高齢化率は22%

ですが一部の地域では50%を越えています。厚労省によると、現在65歳以上の6人に1人が認知症患者であると言われており、2021年認知症による行方不明者は全国で1.7万人。とても他人事とは思えません。安心して暮らせるまちづくりにには認知症による徘徊、行方不明への対応策が欠かせません。過去には行方不明による痛ましい事故も起こっています。今回の取り組みは、その

ゾーン30 通り抜け車両対策話し合う



5月5日、志津南まちづくりセンターで若草地区の「ゾーン30」エリア内の通り抜け車両対策について、草津市都市計画部、及び建設部道路課と話し合いを行いました。「ゾーン30」が若草地区に導入されてから既に10年近くが経過しましたが、近年ますます町内生活道路の通り抜け車両が増加し、ハ

対策案について何通りか検討しましたが、やはり大事なことは通学時間帯に通り抜け車両を町内に入らせないことが有効であると考え、今後この方向で関係機関と調整をしながら進めて行きたいと考えています。

市担当部署と話し合う交通防犯委員

志津南学区交通防犯委員会(井用浩介委員長)は10

青山市民センターでの話し合い



回の特別委員会の関連資料・議事録は志津南学区まちづくり協議会のホームページ(shizu373.net)に順次アップしていきますので、是非一読をお願いします。(特別委員会副委員長 四方道治)

また草津市の取り組みとしては、認知症高齢者等見守りネットワーク事業(登録番号を記載したキーホルダー及びシールを支給、徘徊高齢者探索システム利用支援事業(GPSの貸し出し)や認知症高齢者等個人賠償責任保険(市が契約者)などがあります。詳細は高穂地域包括支援センターまたは市の長寿いきがい課にご相談下さい。

熱気と盛り上がりこれぞ運動会

色鮮やかな旗を手に演技する子どもたち



ルス感染拡大防止の観点から、午前中日程で、各家庭2人と人数制限が設けられました。

全校児童は、運動場の各色のテント内に分かれて観覧したり、応援したりしました。また、前半に二、三年生、後半に四、五、六年生が、学年ご

とに競技と演技の2種目を披露するというプログラムで進行了ました。

志津南小学校(山田容子校長)は10月1日、「南っ子わくわく運動会」を開催しました。好天に恵まれ、全校生での開催に、児童の気持ちも高まっています。今年度も新型コロナウイルス

SOSプロジェクト ありがとうございます

志津南小学校は昨年度に続き実施した「志津南おかえりストーリー」SOSプロジェクトを9月30日終了しました。

「SOSプロジェクト」は小学校が志津南区まちづくり協議会・志津南小学校



に帰宅できるようにするものです。夏の間、青色に黄色の文字で書

の運動会の熱気と盛り上がりを感じられ、子どもたちも満面の笑顔で取り組んで

いつもの教室を飛び出して…

志津南小学校では、普段の教室を飛び出して、教科書では学べない生きた勉強も大切にしています。

秋となかよし

一年生は10月6日、生活科「あきとなかよし」の学習の一環として、自然に詳しい方を講師に迎え、地域



ルーペで何が見えたかな？

かしたSOSのぼり写真をご覧になられた方も多いのではないのでしょうか。今年の夏も猛暑が続き、登下校中の子どもたちの体調が心配でしたが、みなさまの見守りのおかげで熱中症等の大きな事故もなく、元気に通学することができました。

いただきました。応援して下さった方々、ありがとうございます。

にある「若草中央公園」のさまざまな生き物を観察しました。

中央公園に着くと、一人一つずつ観察用のルーペを貸していただきました。そのルーペを使って、木の葉や草花を観察しました。大きく拡大した生き物の様子に、児童たちは歓声を上げていました。木に触れて体感温度が違うことに気付かされたり、耳を澄ませて自然の音を感じたり、木々や草花の匂いを感じ取ったりといったネイチャーゲームを楽しみながら、自然の面白さを実感することができました。児童に興味を持たせるような講師の声かけのもと、身体の様々な部分を使って、秋の自然を感じる良い学習の場となりました。

盲導犬を知る

三年生は10月11日、総合的な学習の時間に「福祉学習」として、盲導犬について

盲導犬の姿勢に感心する児童たち



の学習を行いました。盲導犬と一緒に生活をしておられる方を講師として

招き、盲導犬との生活や視覚障害がある方の暮らしぶりについての話をいただきました。講師の方が話している間、傍でおとなしく伏せている盲導犬の姿勢に感心しながら、話を聞かせていただきました。

質問に丁寧に答えていただき、質問が尽きないまま時間が過ぎました。児童にとって、とても有意義な学習の場になりました。



赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

赤い羽根共同募金運動が10月1日から全国一斉に始まりました。皆様には町内会を通じて募金にご協力いただきありがとうございます。市の募金額は、一般募金が約778万円、歳末たすけあい募金が約515万円です。

募金の約65%は、市内で使われます。残りの35%は、広域的な課題を解決するため県内全域で使われます。募金の具体的な活用場面は？ 令和3年度の募金から市内14学区の社会福祉協議会へ26万円ずつ配分されました。当学区では地域ふれあい活動や子どもたちの支援活動に有効活用しています。また、「歳末たすけあい募金」は、市内の生活困窮世帯への歳末見舞金189万円(232件)、障害者福祉施設への歳末見舞金151万円(47施設)等に配分されました。当学区では歳末たすけあい募金運動を、10月30日の子どもフェスタおよび11月13日の「絆」バザーでも行いますので、皆さまの更なるご協力をお願いします。



赤い羽根共同募金が使われる場所

2年ぶりの合唱コンクール♪



金銀銅の賞状を掲げるクラス代表



高穂中学校(作田まさ代校長)は9月14日、2年ぶりの合唱コンクールを実施しました。

朝から1学年3時間の日程で、3学年ともに初めてのホールでの発表となりました。合唱内容については学年間で相互に磨きあう良い機会となりました。

また、移動時の学年集団行動や交通ルールの指導、ホールでのマナー指導を含め、学びの深い行事になりました。

合唱審査については公平を期すために、滋賀県合唱連盟理事の中根典子先生が行いました。

意見をもとに、すべての学級に対して総合的な判断で「すてきな作品ありがとうございました」が送られました。今年度は学区表彰を復活させていきます。

青少年育成委員会(佐藤恵子委員長)が「あいさつ運動啓発作品」を募集したところ、予想をはるかに上回る作品(計889点)が寄せられました。今年度は学区表彰を復活させていきます。



手話が社会へ広がるにつれて、必要となる手話が加速度的に増えていきます。日本手話研究所では日本語に対応した新しい手話の創作に取り組み、毎年新しい手話が生まれています。ですが、手話だけのコミュニケーションには無理があり、手話の補足に指文字を使います。

指文字で補足

指文字とは五十音のかな一文字ずつを手の形で表したものです。地名や人名などができます。

現在使われている指文字は、大阪市立ろう学校長であった大曾根源助氏が1931年にアメリカの指文字にヒントを得て考案されたものです。アルファベットを引用したものや数詞を転用したもの、カタカナの形から作ったものなどがあり、濁音や半濁音、促音や長音なども表現することができます。

「あ」は親指を出し、4指は握ります。「い」は小指を立てます。「う」は人差し指と中指を立てます。「え」は親指と4指を折り曲げます。「お」は親指と4指で丸を作ります。



(手話サークルうさぎ)

星空に魅了されて

追分南町内会(高田篤司会長)は10月8日、「第二回星空観察」を開催しました。前回に続き、元フロートインクスクール所長江川久雄先生を迎え、「夜空に輝く隕石、天体写真等を勉強した後、会館横の公園へ移動。肉眼での天体観測後に天体望遠鏡での観測会を行いました。



公園トイレがリニューアル



若草中央公園の男子トイレ入口が、ポランティアの方々の手によって塗り替えられ、とてもキレイになりました。ありがとうございます。



水やりありがとう

今夏も志津南環境美化ボランティアの会(舟木要一代表)が、夏場の若草中央公園花壇の水やり協力を任された。92人もの方から協力の申し出をいただき、夏の間中、途切れずに水やりをすることができ、花壇の花も美しく保たれました。写真。この場をお借りして、感謝いたします。



中央公園花壇は、「花ボランティア」が長年世話をしています。

手軽においしく発酵食のレシピ 真野遥 成美堂出版
生涯健康脳 瀧靖之 ソレイユ出版
軽井沢令嬢物語 諸田玲子 潮出版社
楽天道 佐藤愛子 海竜社
空飛ぶ広報室 有川浩 幻冬舎
幸福な生活 百田尚樹 祥伝社
私と踊って 恩田陸 新潮社
毎日っていいな 吉本ばなな 毎日新聞出版

「楽しげなことだけ集めてみました」という吉本ばななさんの50のエッセーです。毎日、夜に読んでみたいです。



今月の志津南文庫

きましたが、高齢化により解散、志津南環境美化ボランティアの会が活動を継承しています。ただ、限られた人数で人員のやりくりに長く頭を悩ませてきました。昨年、住民の皆さんに広く呼び掛けたところ、多くの協力をいただくことができました。今夏も同様の呼びかけに、昨年を上回る申し出をいただきました。

当地区も高齢化にあらがえず、活動を見直す時期にきてはいますが、少しの間で自分たちのまちを美しく守っていくことができるとの思いを強くし、今後とも皆さんの一層のご理解とご協力をお願いします。

皆様の長寿をお祝いして…

訪問して記念品を手渡す委員



会の社会福祉委員、民生委員、福祉委員、福祉協力員が対象者宅を訪問して届けました。

台風接近の予報のため記念品配布日程を早め、17日から19日に対象者宅を訪問して記念品を渡し、令和四年度の敬老行事を無事に終えました。対面で一人ひとりの近況や健康状態を確認できたことは良かったと思えます。

志津南学区社会福祉協会(松崎大次郎会長)は9月19日の敬老の日に合わせて、学区内70歳以上の高齢者に記念品を届けました。

困った時の電話帳

志津南学区民生委員児童委員協議会は敬老の日をむかえ、70歳以上の高齢者宅と高齢者施設に「困った時の電話帳」736枚を配布、安否確認を兼ねた訪問活動を実施しました。写真。

予防して元気に過ごすため、運動・口腔内運動・食事・交流に心がけていただきました。耳よりの情報を掲載しています。訪問先では「いつもありがとうございます」と、たくさん笑顔を送りました。



健康講座募集

志津南まちづくりセンターでは健康講座受講生を次の要領で募集します。くさつ健・交クラブから講師を招き、ノルディックポールを使って、マキノ高原メタセコイヤ並木を歩きます。▽日時 12月10日(土) 9時~15時

▽場所 マキノメタセコイヤ並木周辺

▽受講料 5000円(保険代込み)

▽定員 先着30名

▽受付 11月7日(月)

志津南まちづくりセンターに参加費を添えてお申し込みください。尚、定員になり次第締め切ります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止等により、中止になる場合もありますのでご了承ください。

秋のウォーキング

志津南学区健康推進員連絡協議会(千金榮晃子代表)は、次の要領で秋の「はつらつウォーキング」を実施

と感じます。

運営に携わっていただいた各方面の協力者の方々には大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げます。(福祉部会部長小松原幸助)

▽日時 11月26日(土) 9時~12時(予定)

8時30分志津南まちづくりセンターに集合

▽行き先 びわこ文化公園

▽申し込み 志津南まちづくりセンター

電話(563)6206

締め切り 11月19日(土)

多数のご参加をお待ちしています。

しづみにナリエ

地域サロン「志津南アンサンブル」(吉田知津子代表)は、志津南環境美化ボランティアの会の協力を

いただき、今年も次の要領でペットボトルを使った「しづみにナリエ」を開催し、年末のセンター前をライトアップします。

▽実施期間 12月17日(土) ~24日(土)

▽点灯 17時15分~20時

▽場所 志津南まちづくりセンター玄関前

お子様には必ず保護者が付き添ってください。

パソコンの駅

▽パソコンについての相談

▽11月25日(金)

12月24日(土)

13時~16時

▽センターサロン

地域内困りごと相談窓口を兼ねています。



東海道テクテク行脚の続き。サツタ峠の絶景を見た後、由比、沼津、三島宿へは美しい富士を拝みながら。三島大社手前の八幡神社に、頼朝の挙兵を知り奥州より駆け付けた義経が兄と初めて対面したとされる対面石があり、旅の相棒と座ってみました。

例の「ちゃん」と歩く東海道53次なる案内本に記載された「箱根旧街道迂回路：農家の庭先を通る」地点を見逃し、大型トラックがびゅんびゅん走る歩道のない国道1号線に出てしまいました。ヒヤヒヤしながらも何とか旧道を見つけ出して、漸く芦ノ湖に到着。

箱根の関所も無事に通過して、温泉宿で一泊。とてもいい湯でした!

資源回収

□毎月第1・3日曜日

★若草1~5丁目町内会

□毎月第2・4日曜日

★若草6~8丁目町内会

□毎月第2・4土曜日

岡本町西町内会

その後、小田原宿を経て大磯にある旧吉田茂郎を見学。屋敷は焼失してしましたが、バラ園などがある庭園はともキレイでした。

更に平塚宿、藤沢、神奈川、川崎宿へと行脚は続きます。川崎宿の手前、生麦事件が

ついに日本橋

一日に上下各2往復の運行で所要時間は35分(今は17分ほど)。運賃は、上等1円50銭、中等1円、下等50銭とかでかなり高額!だった模様(今は300円ほど)。



歌川広重「日本橋 朝之景」

あった場所の直ぐ横にキリンピールの工場があり、予約をしておいて工場見学。見学は程々に、おいしいピールの試飲が本命。グラス3杯、おつまみ付。有難う!

鈴ヶ森の刑場跡辺りは気のせいかな、何となく不気味。八百屋お七はここで火あぶ

★かがやきの丘町内会 □毎月第1・3土曜日
★フォレストトロース子供会 □毎月第2日曜日
★向山子供会
※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・ウエス・雑紙